

R・シュトラウスの才覚と半生 110521

Program

19世紀後葉、ドイツ・後期ロマン派、リヒャルト・シュトラウスは、宗教音楽を除く、歌曲・交響詩・交響曲・協奏曲・オペラ・室内楽曲など、幅広いジャンルにおいて、多くの優れた作品を残しました。

特に、近代管弦楽のパイオニア、ベルリオーズが創作しましたオリジナルな劇的音楽を、リストは交響詩として発展させましたが、さらに、シュトラウスは、華麗な交響詩として集大成を行いました。

また、シュトラウスは、交響詩の限界を悟り、次の目標として、楽劇に関心を向け、前衛的手法やロマン主義的手法による、楽劇を次々と創造し、作曲家として不動の地位を築きました。

本日は、作曲家、R・シュトラウスの半生を見つめながら、秀逸の作品をご鑑賞ください。

※ ※ ※

リヒャルト・シュトラウス 《1864～1949》

■ 交響詩 ドン・ファン op20

安永 徹(ヴァイオリン・ソロ)

クラウディオ・アバド 指揮

ベルリンフィルハーモニー管弦楽団

演奏時間 約 17 分

1992年12月31日 Live

■ 8つの歌 op10(抜粋) 献呈・夜・万霊節

ルチア・ポップ(ソプラノ)

ヴォルフガング・サヴァリッシュ(ピアノ)

演奏時間 約 9分

1984年9月収録

■ ピアノと管弦楽のためのブルレスケ ニ短調

マルタ・アルゲリッチ(ピアノ)

クラウディオ・アバド 指揮

ベルリンフィルハーモニー管弦楽団

演奏時間 約19分

1992年12月31日 Live

～～ < 休憩 > ～～

■ 交響詩 ツァラトゥストラはかく語りき op30

サー・ゲオルク・ショルティ 指揮

ベルリンフィルハーモニー管弦楽団

演奏時間 約32分

1996年1月 Live

■ 楽劇 ばらの騎士 第3幕より三重唱とフィナーレ op59

キャスリーン・バトル(ソプラノ)ゾフィ、ルネ・フレミング(ソプラノ)元帥夫人

フレデリカ・フォン・シュターデ(メゾソプラノ)オクタヴィアン

アンドレアス・シュミット(バリトン)ファーニナル

クラウディオ・アバド 指揮

ベルリンフィルハーモニー管弦楽団

演奏時間 約13分

1992年12月31日 Live

■ 終演は午後4時20分を予定しています。

■ 参考文献 西洋音楽史体系 石井 宏 学習研究社 2002年5月発行

リヒャルト・シュトラウスの実像 日本リヒャルト・シュトラウス協会編 音楽乃友社 2000年3月発行